

説明

「これからの幼保小連携・接続の進め方」 ～幼保小の架け橋プログラムの実施に向けて～

令和5年度幼保小連携・接続研修

令和5年11月24日（金）

1 本県の幼児教育・保育施設の設置状況

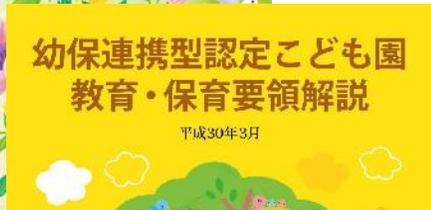
令和5年4月1日時点

施設 類型	幼稚園			認定こども園								保育所		小規模 事業所 等	小学校		
				幼稚園 型		幼保連 携型		保育所 型		地方裁 量型							
設置者	国立	公立	私立	公立	私立	公立	私立	公立	私立	公立	私立	公立	私立	-	国立	公立	私立
設置数	1	9	30	0	41	0	142	3	36	0	1	38	198	28	1	231	1
類型の 合計	40			223								236		28	233		
全体の 合計	527																

※休園・休止の施設は除く

※小学校数は、義務教育学校数も含む

2 施設類型の違い



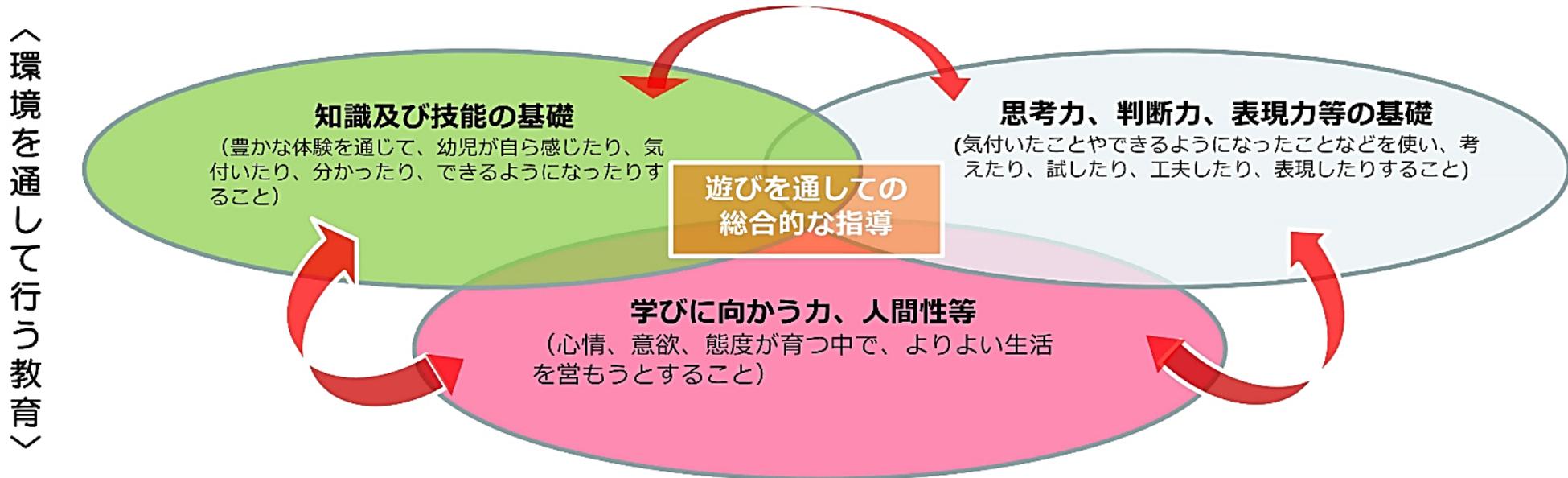
幼稚園	保育所	認定こども園	地域型保育事業
3～5歳	0～5歳	0～5歳	0～2歳
教育	保育	教育・保育	保育
幼稚園教育要領	保育所保育指針	認定こども園教育・保育要領	市町村の条例で定める
運動場必置	屋外遊技場は原則設置、代替地でも可	幼保連携型 幼稚園型 保育所型 地方裁量型	家庭的 小規模 居宅訪問型 事業所内
給食施設は備えるよう努める	調理室必置		

→ 幼児教育・保育施設の類型も様々

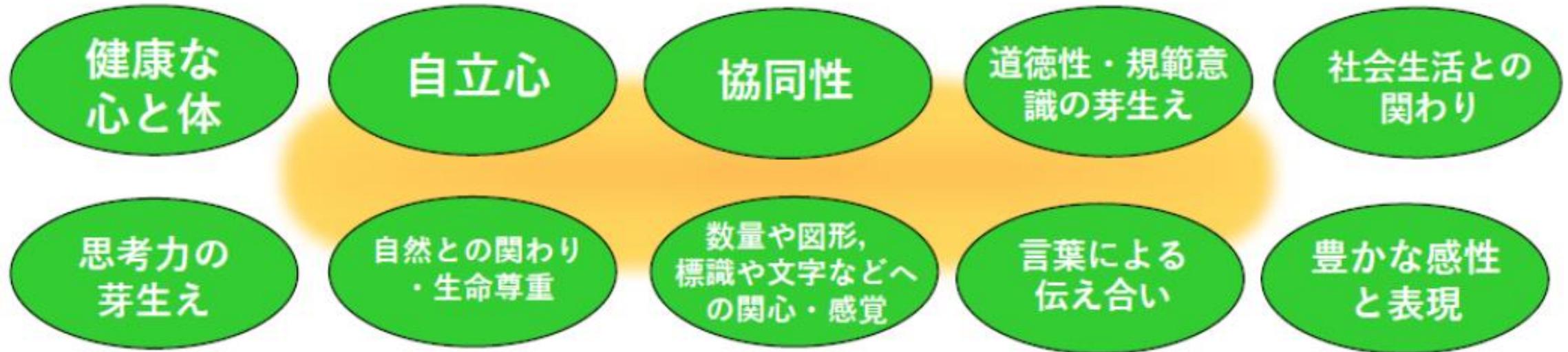
3 育みたい資質・能力

- 各学校段階及び全ての教科等について共通する、育成を目指す資質・能力を明確化
- **資質・能力の三つの柱** として整理
 - ①生きて働く「**知識・技能**」の習得
 - ②未知の状況にも対応できる「**思考力・判断力・表現力等**」の育成
 - ③学びを人生や社会に生かそうとする「**学びに向かう力、人間性等**」の涵養
- 幼児教育段階では、三つの柱を下図のように整理。この資質・能力は幼稚園教育要領等の5領域の枠組において育むことができるため、5領域は引き続き維持

なお、幼児教育の特性から、これらは個別に取り出して身に付けさせるものではなく、遊びを通しての総合的な指導を行う中で、一体的に育んでいくことが重要



4 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿



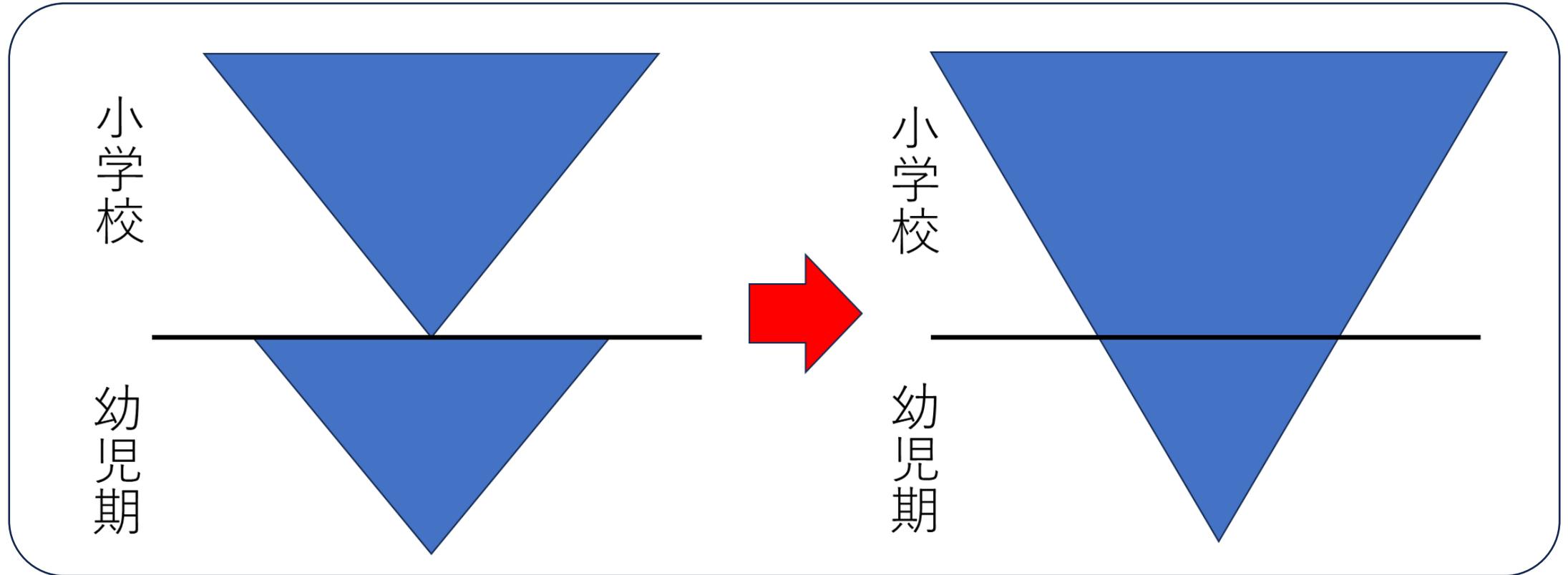
※平成29年度の「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」で共通して示された。

→ **施設類型に関わらず共通化
小学校との円滑な接続を重視**

5 幼児教育と小学校教育の違い

	幼児教育	小学校
教育課程等の構成原理	<ul style="list-style-type: none"> 各教科等の区別がない 幼児期以降の教育の方向付けを重視 (～を味わう、～を感じる) 	<ul style="list-style-type: none"> 各教科等の区別がある 具体的な目標への到達を重視 (～ができるようになる)
指導方法	<ul style="list-style-type: none"> 環境を通して行う教育 幼児期の生活や体験からの学び、自発的な活動を重視 	<ul style="list-style-type: none"> 合科的・関連的指導、個に応じた指導、問題解決的な指導 学級集団を基本とする 単位時間ごとのねらいに即した効果的指導 
教育活動	<p>学びの芽生えの時期 (楽しいことや好きなことに集中し 様々なことを学ぶ)</p>	<p>自覚的な学びの時期 (学ぶということへの意識をもち 与えられた課題を受け止め計画的 に学習を進める)</p>

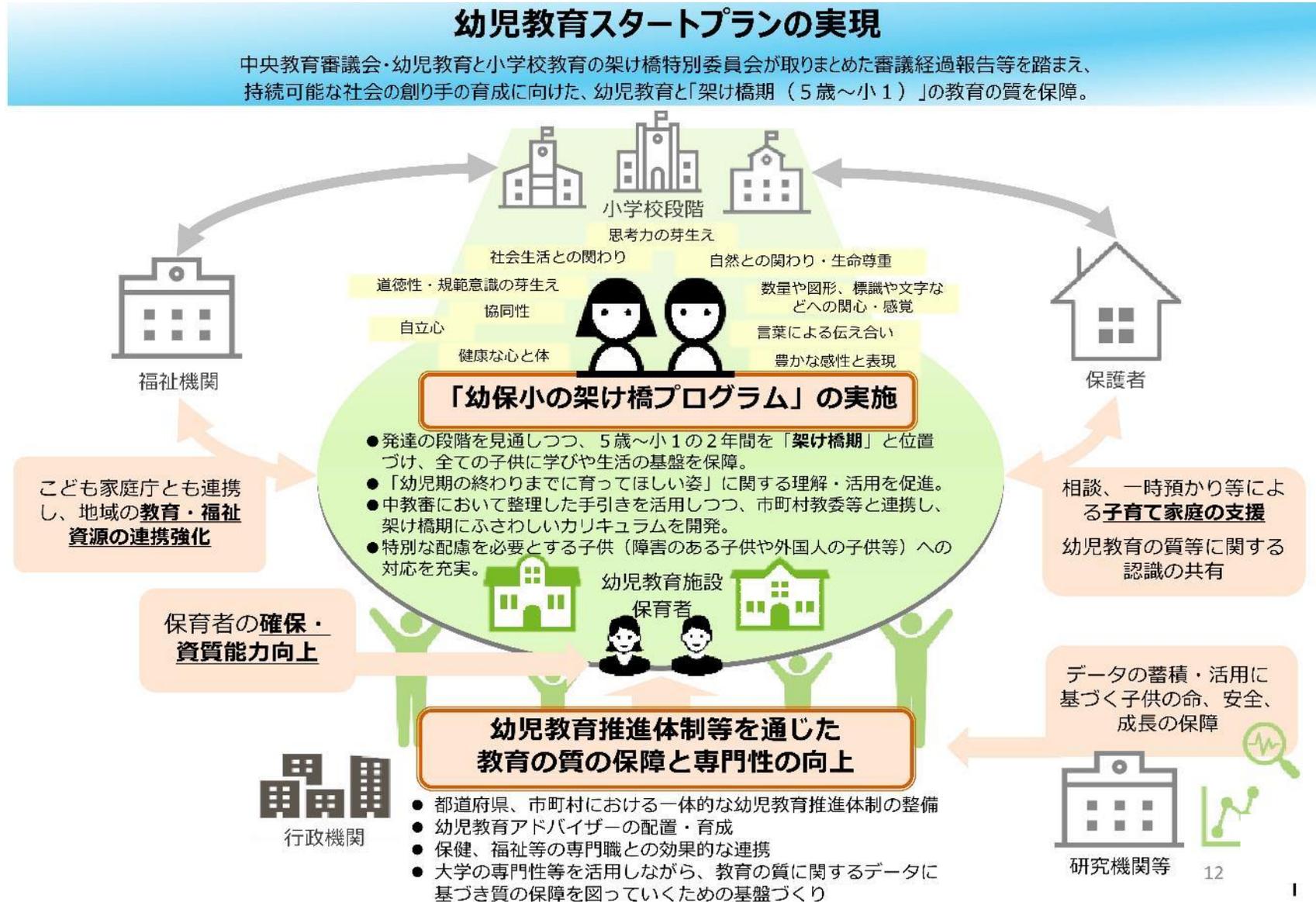
6 幼保小連携・接続について



幼児教育と小学校教育の育ちや学びの連続性・一貫性が重要

7 幼児教育スタートプランと架け橋特別委員会

【参考】 幼児教育スタートプランのイメージ 第125回教育課程部会 R3. 7. 15



8 幼保小の架け橋プログラム

●幼保小の架け橋期

0～18歳の学びの連続性に配慮しつつ、5歳児～小学校1年生の2年間を対象

●架け橋プログラム

「幼保小の架け橋プログラム」は、子供に関わる大人が立場の違いを越えて自分事として連携・協働し、この時期にふさわしい主体的・対話的で深い学びの実現を図り、一人一人の多様性に配慮した上で全ての子供に学びや生活の基盤を育めるようにすることを旨とするもの。

別添1

幼保小の架け橋プログラムの実施に向けての手引き（初版）

令和4年3月31日
文 部 科 学 省

9 幼保小連携・接続の課題

- 幼稚園・保育所・認定こども園の 7～9割が小学校との連携に課題意識、各園・小学校における連携の必要性に関する意識の差
- 半数以上の園が行事の交流等にとどまり、資質・能力をつなぐカリキュラムの編成・実施が行われていない
- 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が到達目標と誤解され、連携の手掛かりとして十分機能していない
- スタートカリキュラムとアプローチカリキュラムが バラバラに策定され、理念が共通していない
- 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」だけでは、具体的なカリキュラムの工夫や教育方法の改善方法がわからない
- 小学校側の取組が、教育方法の改善に踏み込まず学校探検等にとどまるケースが多い
- 施設類型の違いを越えた共通性が見えにくい
- 教育の質に関するデータに基づき 幼児期・接続期の教育の質の保障を図っていくための基盤が弱い

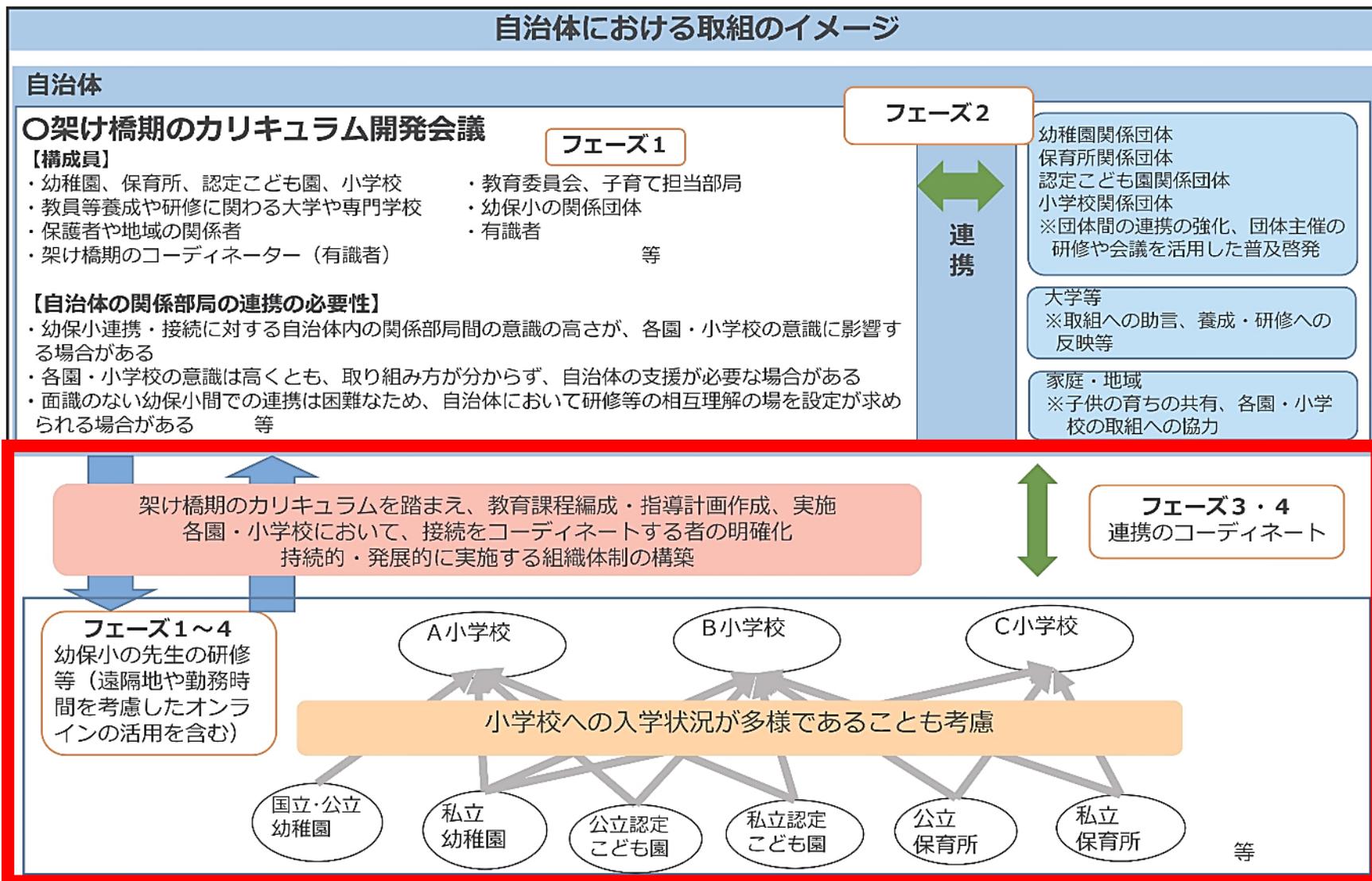
10 架け橋プログラムのねらい

- 幼児期から児童期の発達を見通しつつ、5歳児のカリキュラムと小学校1年生のカリキュラムを一体的に捉え、地域の幼児教育と小学校教育の関係者が連携して、カリキュラム・教育方法の充実・改善にあたることを推進
- 3要領・指針、特に「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の正しい理解を促し、教育方法の改善に生かしていくことができる手立てを普及
- 架け橋期に園の先生が行っている環境の構成や子供への関わり方に関する工夫を見える化し、家庭や地域にも普及
- 幼児期・架け橋期の教育の質保障のための枠組みを構築し、データに基づくカリキュラム・教育方法の改善を促進

11 架け橋プログラムの取組イメージ

【参考】「幼保小の架け橋プログラムの実施に向けての手引き（初版）」R4. 3. 31

6-(1) 実施に必要なことにおける自治体での支援の進め方（各フェーズ）のイメージ

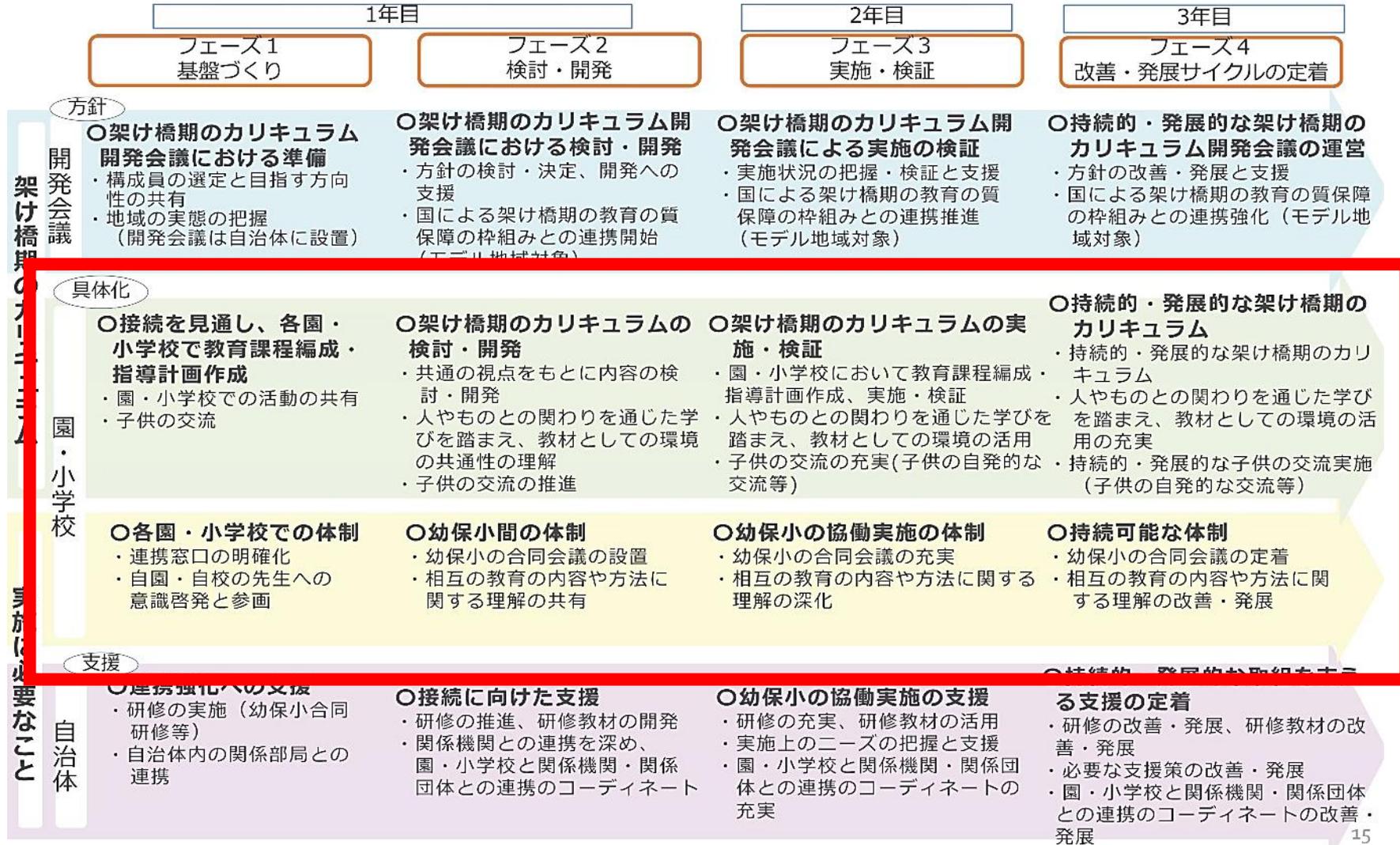


12 架け橋プログラムのフェーズ

【参考】「幼保小の架け橋プログラムの実施に向けての手引き（初版）」R4.3.31

2-(6) 進め方のイメージ

注：基盤づくりから改善・発展サイクルの定着に至るまでのプロセスの目安。実際には、地域の実態に応じ、各フェーズ間を行きつ戻りつしながら発展していく。



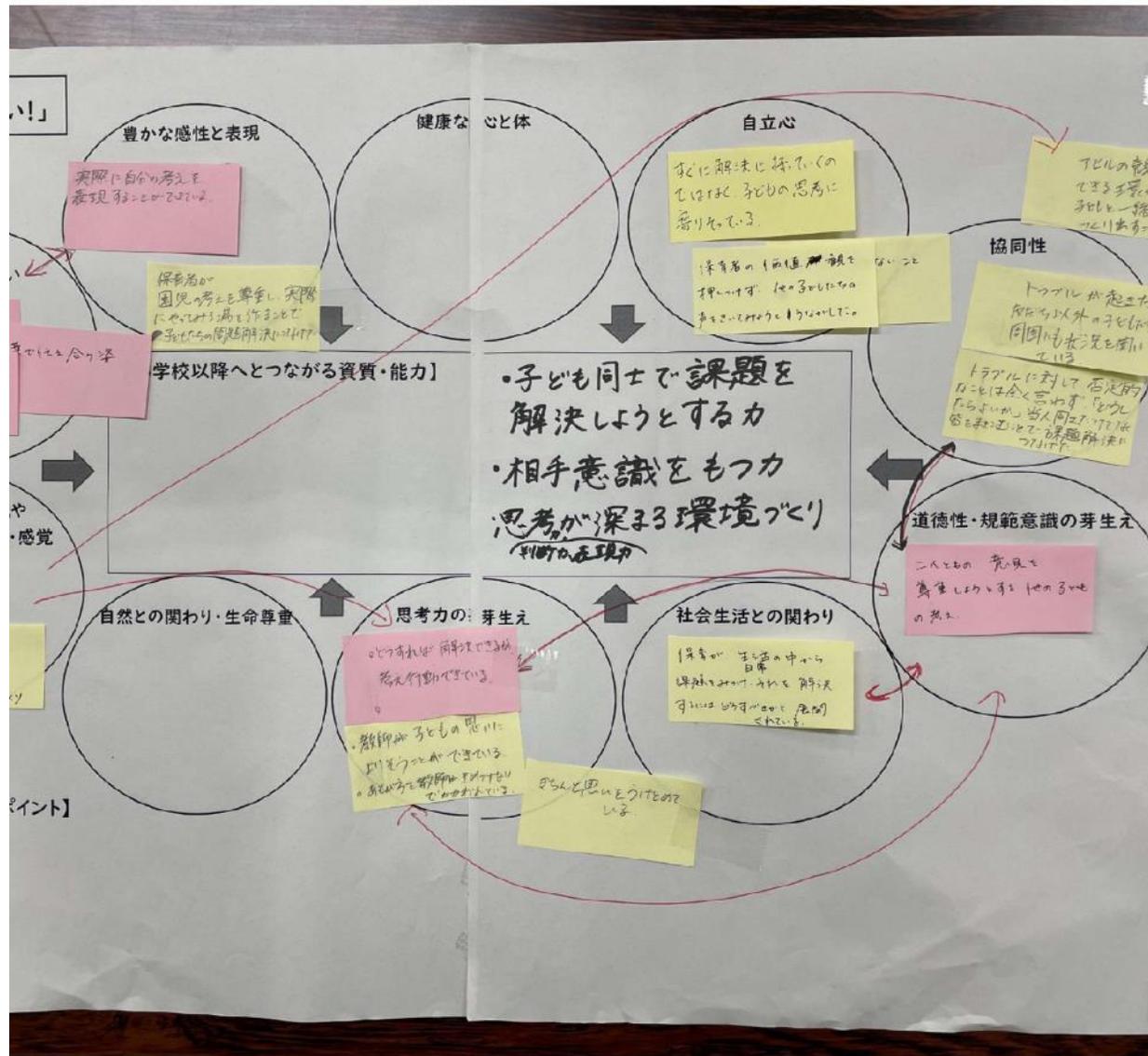
15 カリキュラム（架け橋期のカリキュラム）

5歳児

小学校1年生

共通の視点として考えられる項目(例)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
期待する子ども像 (めざす子ども像)																									
育みたい資質・能力																									
遊びや学びのプロセス		<p>●カリキュラム作成に当たって</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼保小で共通の視点をもつ。 (幼児期の終わりまでに育ってほしいの姿等) ・ 幼保小の関係者が、気軽に話し合える関係を構築する。 ・ 関係者で共有するために、わかりやすさを重視する。 ・ 形式的な取組とならないようにする。 																							
園で展開される活動/ 小学校の生活科を中心とした各教科等の単元 構成等																									
指導上の 配慮事項	先生の 関わり																								
	環境の構成・ 環境づくり																								
子どもの交流																									
職員の交流																									
家庭や地域との連携																									
評価																									

16 先進地の取組 (大分県竹田市)



17 先進地の取組 (大分県竹田市)

竹田市架け橋期のカリキュラム (南部幼小モデルプラン)

R5.6.23現在

期待する子ども像	竹田市教育ビジョン 主体的に学び未来を創造する子ども ~将来の予測が困難な時代において、情報を活用しながら他者と協力し自分の考えを形成していくとともに主体的に学び続ける子どもを育成する~ ◎重点目標:○情報活用能力 ○協働的な学び ○自分の考えを形成する力 ○主体的に学び続ける意欲																			
	4歳児			5歳児			6歳児			小学校1年生										
遊びや学びのプロセス	遊びや生活を通して総合的に学ぶ						考えをもち表現する子			考えをもち表現する子										
園で展開される主な活動/小学校の生活科を中心とした単元構成	五領域<健康・人間関係・環境・言葉・表現>																			
	体を十分に動かして、いろいろな運動や遊びに連れて取り組む(戸外で、友だちと一緒にするなど)																			
	友だちの話を聞き、互いの思いや考えを伝え合いながら、友だちと目的を共有し協働することを楽しむ(考える、伝え合う、工夫する、認め合う、協力する、見通しをもつ、折り合いをつける、ルールの共有など)																			
	数量や図形、文字などに親しみ、遊びや生活の中で使う楽しさを感じる																			
	身近な自然や動植物に興味や関心をもち、関わる(世話をし、遊びに取り入れる、仕組みに気づくなど)																			
	絵本や物語などに親しみ、言葉やイメージを豊かにする																			
	様々な出来事や素材に触れ感じることや考えたことを表現して楽しむ(歌う、楽器を使う、かく、つくるなど)																			
	<table border="1"> <tr> <td>固定器具や運動遊具に興味を持ち、体を動かして遊ぶ楽しさを感じる</td> <td>自分なりに考えたり、気づいたことを友だちと伝え合ったりしながら、試行錯誤して遊ぶことを楽しむ</td> <td>秋の自然物や遊びに取り入れ、友だちと協力して遊ぶ中、文字や数字に興味をもち、その必要性に気づき、遊びに取り入れて楽しむ</td> <td>共通の目的に向かって友だちと協力して遊ぶ中、文字や数字に興味をもち、その必要性に気づき、遊びに取り入れて楽しむ</td> </tr> <tr> <td>【忍者ごっこ】 ☆健康な心と体 ☆自立心</td> <td>【シャボン玉遊び】 ☆思考力の芽生え ☆言葉による伝え合い</td> <td>【秋のおぼろさんごっこ】 ☆協働性 ☆言葉による伝え合い ☆自然とのかわり・生命尊厳</td> <td>【お正月のおそご】 ・ゆうびんやさんごっこ ・手作りした・すくろく ☆数量・図形・標識や文字などへの関心・感覚 ☆協働性</td> </tr> </table>												固定器具や運動遊具に興味を持ち、体を動かして遊ぶ楽しさを感じる	自分なりに考えたり、気づいたことを友だちと伝え合ったりしながら、試行錯誤して遊ぶことを楽しむ	秋の自然物や遊びに取り入れ、友だちと協力して遊ぶ中、文字や数字に興味をもち、その必要性に気づき、遊びに取り入れて楽しむ	共通の目的に向かって友だちと協力して遊ぶ中、文字や数字に興味をもち、その必要性に気づき、遊びに取り入れて楽しむ	【忍者ごっこ】 ☆健康な心と体 ☆自立心	【シャボン玉遊び】 ☆思考力の芽生え ☆言葉による伝え合い	【秋のおぼろさんごっこ】 ☆協働性 ☆言葉による伝え合い ☆自然とのかわり・生命尊厳	【お正月のおそご】 ・ゆうびんやさんごっこ ・手作りした・すくろく ☆数量・図形・標識や文字などへの関心・感覚 ☆協働性
	固定器具や運動遊具に興味を持ち、体を動かして遊ぶ楽しさを感じる	自分なりに考えたり、気づいたことを友だちと伝え合ったりしながら、試行錯誤して遊ぶことを楽しむ	秋の自然物や遊びに取り入れ、友だちと協力して遊ぶ中、文字や数字に興味をもち、その必要性に気づき、遊びに取り入れて楽しむ	共通の目的に向かって友だちと協力して遊ぶ中、文字や数字に興味をもち、その必要性に気づき、遊びに取り入れて楽しむ																
	【忍者ごっこ】 ☆健康な心と体 ☆自立心	【シャボン玉遊び】 ☆思考力の芽生え ☆言葉による伝え合い	【秋のおぼろさんごっこ】 ☆協働性 ☆言葉による伝え合い ☆自然とのかわり・生命尊厳	【お正月のおそご】 ・ゆうびんやさんごっこ ・手作りした・すくろく ☆数量・図形・標識や文字などへの関心・感覚 ☆協働性																
友だちとイメージを共有し一緒に遊ぶ楽しさを感じる																				
【かえるごっこ】 ☆協働性 ☆言葉による伝え合い																				
砂・水・泥の感触や違いに気づき、試したり、工夫したりしながら、友だちと一緒に遊ぶ楽しさを感じる																				
【砂場あそび】 ☆思考力の芽生え ☆協働性																				
友だちと一緒にいるいろいろな経験をする中で、自分の力を発揮し、友だちと協力し、やり取りした達成感を味わう																				
【お祭り】 ・リズム・オペレッタ ・音楽・チャレンジあそび ☆豊かな感性と表現 ☆協働性 ☆自立心																				
共通のイメージを表現するために、互いに協力し、作り上げる楽しさを感じる																				
【風つくり】 ☆思考力の芽生え																				
動物に関心をもち、進んで世話をし、(アサギ、異界草、さつまいもなど)(カエル、虫など) ※地域の方との交流; 地域の方とのふれあいを楽しむ ☆社会生活とのかわり																				
【幼小交流活動】 交流の中で1年生に親しみをもち、一緒に活動することを楽しむ																				
<table border="1"> <tr> <td>【よろしくねの会】 ☆協働性 ☆言葉による伝え合い</td> <td>【みんなでセク飾りを作ろう】 ☆自立心 ☆協働性 ☆言葉による伝え合い</td> <td>【秋祭りしよう】 ☆自然とのかわり ☆社会生活とのかわり ☆協働性 ☆言葉による伝え合い</td> <td>【風を作ってみよう】 ☆自立心 ☆社会生活とのかわり ☆協働性 ☆言葉による伝え合い</td> </tr> </table>												【よろしくねの会】 ☆協働性 ☆言葉による伝え合い	【みんなでセク飾りを作ろう】 ☆自立心 ☆協働性 ☆言葉による伝え合い	【秋祭りしよう】 ☆自然とのかわり ☆社会生活とのかわり ☆協働性 ☆言葉による伝え合い	【風を作ってみよう】 ☆自立心 ☆社会生活とのかわり ☆協働性 ☆言葉による伝え合い					
【よろしくねの会】 ☆協働性 ☆言葉による伝え合い	【みんなでセク飾りを作ろう】 ☆自立心 ☆協働性 ☆言葉による伝え合い	【秋祭りしよう】 ☆自然とのかわり ☆社会生活とのかわり ☆協働性 ☆言葉による伝え合い	【風を作ってみよう】 ☆自立心 ☆社会生活とのかわり ☆協働性 ☆言葉による伝え合い																	
【】は遊び/活動別 ☆遊びの中で期待する「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」(創造目標ではない)																				
指導上の配慮事項	活動を展開するのにふさわしい環境の構成(道具・用具・素材の種類、数量、配置等) 子どもの興味・関心を引き出す導入の工夫 見通しをもったり、振り返りできるように場を設ける 見守り、一緒に活動する、共感するなど場に応じた言葉かけや援助を行う																			
環境構成	園庭 園舎																			
家庭や地域との連携	幼児教育と小学校教育のつながり、「架け橋期のカリキュラム」等についての理解(保護者会、入園・入学説明会、学校運営協議会、通信など) 竹田市こども「せいかつTOP10」(幼児版)の活用 「南小っ子 生活の約束」「南小っ子 学習の約束」 体力づくりプログラム(「たけたん体操」の普及)																			

18 今後取り組むべきこと

○子どもや職員の交流計画

- ・保育参観や授業参観を積極的に！
- ・互いの違いを理解し合うことが大切です！

○体制構築

- ・特定の職員的情熱に頼らない体制づくりを！

→ 架け橋カリキュラム作成に向けた準備

18 今後取り組むべきこと

○子どもや職員の交流計画

- ・保育参観や授業参観を積極的に！
- ・互いの違いを理解し合うことが大切です！

○体制構築

- ・特定の職員的情熱に頼らない体制づくりを！

→ 架け橋カリキュラム作成に向けた準備